

2015年4月9日

公益財団法人 日本サッカー協会
2015年度 第4回理事会

協議事項

1. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 キャンプ候補地の承認手続きの件
<p>(協議) 資料No.1</p> <p>公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、同組織委員会が作成する公式ガイドに掲載する「Tokyo 2020 事前トレーニング (キャンプ) 候補地」の募集を全国の地方自治体 (都道府県/市区町村) に対して開始した。本件に関して J F A は、同組織委員会より、サッカーのキャンプ候補地の技術要件の適合確認を行うことの依頼を受けている。</p> <p>については、J F A 内でのキャンプ候補地の技術要件の適合確認について、別紙のとおり承認手続きとしたい。</p>
2. J F A インターナショナルレフェリングコース 2015 の件
<p>アジア貢献事業の一環として、以下の審判養成コースを開催したい。</p> <p>今回は、副審を対象としたコースを提供。各協会から最大副審 2 名の参加を募る。</p> <p>コース名：(第6回) J F A インターナショナルレフェリングコース 2015 (A F C 加盟協会向け)</p> <p>期 間：5月11日(月)～15日(金)</p> <p>会 場：J-GREEN 堺 (大阪)</p> <p>講 師：J F A S 級審判インストラクター</p> <p>募集人数：20名</p> <p>応募資格：①A F C 加盟協会にて、F I F A アシスタントレフェリー又は F I F A アシスタントレフェリーを目指している副審で英語堪能者 ②各協会から最大 2 名の応募が可能</p> <p>費用負担：①日本までの国際航空券代は、参加協会または参加者が負担する。 ②日本国内移動費・宿泊費・食費は J F A が負担する。 ※一部費用については国際交流基金の助成を受ける予定。</p> <p>資格授与：コースを終了した参加者には、コース修了証を授与する。</p> <p>第5回までのコースの実施年とコース内容：</p> <p>第1回 2008年、第2回 2009年、第3回 2010年、第4回 2011年、第5回 2013年 第1回から第4回は、審判インストラクター向けのコース、 第5回は、副審と副審インストラクター向けのコース</p>
3. 仲介人に関する規則の変更の件
<p>(協議) 資料No.2</p>
4. 2015 ユースディベロップメント体制の件
<p>(協議) 資料No.3①②③</p> <p>2015年ユースディベロップメント体制のうち、J F A インストラクターを2名追加し、別紙の通</p>

	りとしたい。
5.	J F A ・ J リーグ特別指定選手制度の件 (協議) 資料No.4 2015 年度第 2 回理事会にて J F A ・ J リーグ特別指定選手制度について承認されたが、 4. 認定基準、7. 活動対象試合 について別紙の通り追加したい。
6.	F リーグ特別指定選手制度の件 (協議) 資料No.5 2015 年シーズンの F リーグ特別指定選手制度を別紙の通りとしたい。
7.	J F A マッチコミッショナー認定の件 (新規) 「2015 年度 J F A マッチコミッショナー認定制度」に基づき、地域サッカー協会の推薦を受けた 149 名のうち、3 月 8 日の認定研修会を受講し、競技会委員会で承認された以下の 12 名を新規 J F A マッチコミッショナーとして認定したい。 なお、2 月 21 日、22 日の認定研修会を受講した 137 名は 3 月の理事会において承認されている。 ◆北海道：山下 卓 ◆東 北：及川 協一 ◆関 東：金沢 聡 ◆関 西：丸山 展生、郡 和秀、山口 幸司、石井 孝典、豊浦 太郎 ◆九 州：近藤 靖彦、曾我 大一郎、村瀬 勇、白木原 忠
8.	各種委員会委員 変更の件 以下の委員会委員を以下の通り変更したい。 (1) 競技会委員会 委員 (新) 上保 毅彦 (じょうほ たけひこ) / J F L 委員 (現) 加藤 桂三 (かとう けいぞう) / J F L ※加藤氏が J F A 評議員就任に伴い既に委員を退任した為 (辞任日：3 月 11 日) (2) 100 周年記念事業委員会 委員 (新) 加賀山 公 (かがやま ひろし) 管理部長 委員 (現) 安達 健 (あだち けん) 総合企画部担当部長 ※4 月 1 日付け事務局内の担当業務変更に伴う